

2023年度 授業評価 結果のまとめ

1. 緒言
2. 結果
 - (1) 授業カテゴリー別の集計結果と評価点の分布
 - (2) 自由記載
3. まとめ

＜参考＞ 授業評価アンケート 設問（前期・後期共通）

1. 緒言

令和5（2023）年度は、コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じながら、授業においては対面授業を中心にオンデマンド授業を加えながら、それぞれの特徴をいかしつつ、適切に実施できるような工夫がなされた。すなわち、対面式やオンデマンドなどの授業様式に関して、これまでに教員および学生を対象に実施した調査では、対面授業のメリットとして「受講生と教員との対話による信頼関係の形成」や「リアルタイムの質疑応答」ができること、オンデマンド授業のメリットとしては「動画教材などの繰り返し視聴が可能なことによる理解の深まり」があること、等が示されており、従って、各授業の設計にあたっては、内容の専門性や達成目標に留意しつつ、上述の方法論的利点が活かされるよう、工夫がなされている。ただし、今回の授業評価アンケートにおいては、オンデマンド講義が少なかったためか、授業評価アンケートにおいてオンデマンド講義への回答数は著しく少なかった。

以上のような状況から、2023年度の授業評価アンケートの分析は、統計的にデータを論じることが困難なオンデマンド講義については分析から除外し、対面講義のみを対象とした。また、授業評価アンケートにおいては「シラバス通りの授業進行」や「対面受講を前提とした諸配慮（例：授業を進める上で、教室の広さや空調、教室移動時間、実習期間などに応じた配慮を行っていたか、学生が質問や意見を出しやすいように工夫を行い、質問に適切に応じていたか、など）」の程度を問う設問、および教員の「授業への熱意や意欲」の程度など、回答に授業の実施方式によるバイアスがかかる可能性のある表現を含む設問はあえて除き、①授業計画・進め方についての十分な説明、②学修到達目標と評価方法についての十分な説明、③授業テーマや特徴、受講時の留意点等についての十分な説明、④話し方、教材や資料の提示、ディスカッションや実験・実技指導などの適切性、⑤学習に集中できる授業環境への配慮、⑥授業構成についての工夫、の6項目で実施した。

授業評価は、ユニバーサルパスポート（以下、UNIPA）のアンケート機能を用いて実施されるため、回答期間の終了直後から自由記載を含めてすべての評価結果が参照可能となる。従って、教員は、それらを確認することで速やかな（通年授業であれば、前期の評価結果を基に後期から）対応ができ、学生の声を授業改善に反映させるという授業評価本来の役割はシステム上で果たすことが可能である。このため、本報告書の趣旨としては、当該年度に開講された授業の状況を全学的視点で点検・評価し、いわゆるマクロレベルでの改善の方向性等を見出すことを目指している。

そのため、本稿では、昨年度と同様に開講科目を「一般講義」「語学系」「初年次教育（リエゾンゼミⅠ）」「ゼミ・演習・卒業研究・卒業論文」「実習(含指導)・実験・実践・フィールドワーク」「スポーツ系」「禅」の7つのカテゴリーに分け、評価結果を授業特性に基づいて分析した結果を報告する。なお、一昨年までは、各授業の評点を算出して分析に用いていたため、特定の少人数教育科目等で散見される極端に偏った評点や低回答率の授業からの評点を含めることによって分析結果の信頼性が低下するのを防ぐ目的で「回答率が50%以上であり、かつ回答者数が10名以上である授業」のみを対象としていた。それに対して、昨年度は上述のカテゴリー毎の評価傾向を探るため、条件を設けず、すべての授業を対象とした。本年度も昨年度同様に条件は設けず、すべての授業を分析対象とする。

自由記載に関しては、対面とオンラインのそれぞれの授業様式について、「よかったと感じられた点」と「よかったとは感じられなかった点」に分けて分析を実施した。定量的には、各回答の文章から評価に関係するキーワードを抽出し、その出現頻度と文脈の解析から高評価あるいは低評価となっている観点とその内容を集約を共起ネットワーク分析から検討した。なお、回答の形態素解析（分かち書き）にはGiNZA（bert-large-japanese-v2）を使用した。

対象者と両期の実施期間、全体の回答率は以下の通りである。

対象者：2023年度在籍の全学生（5,468名）

実施期間：前期：2023年7月10日～8月10日（前期集中授業を含む）

後期：2023年12月22日～2024年2月16日（3月実施の実習については終了後まで）

回答率：前期 20.23 %（6,974/34,482）, 後期 50.51 %（28,490/56,404）

(担当教員の閲覧可能期間：前期2023年月日～2023年月日、後期2023年月日～月日)

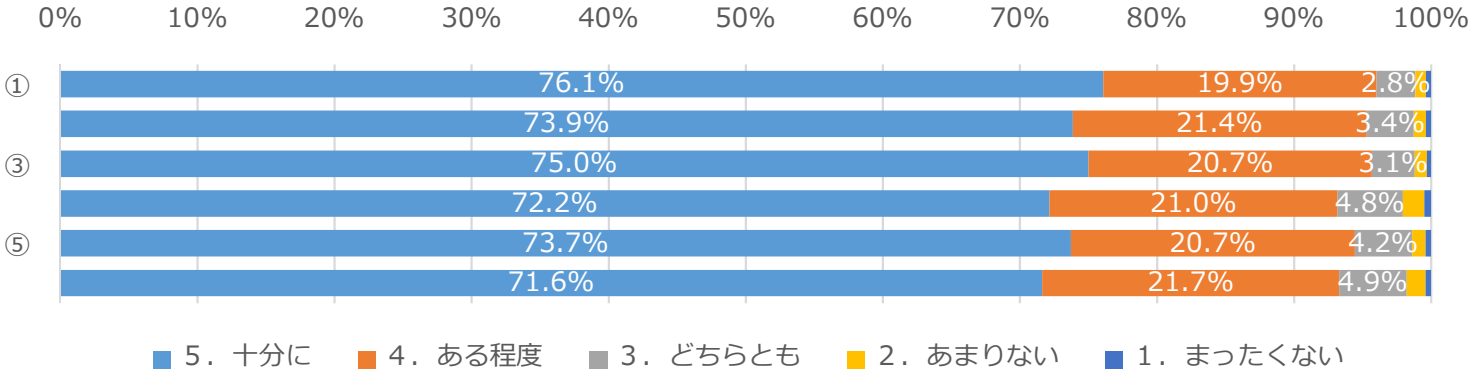
なお、大学院の授業については、各科目の受講者数が少なく、内容や実施様式についても学士課程と同等に扱うことは適切でないと考えられたので、昨年度と同様に集計・分析対象からは除外した。

2. 結果

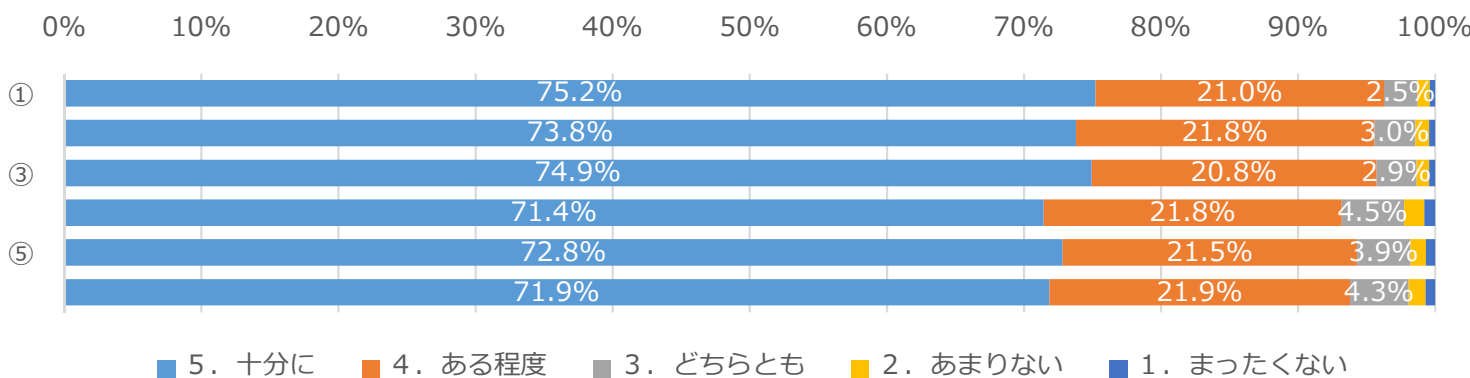
(1) 授業カテゴリー別の集計結果と評価の割合

一般講義

前期のべ回答数 4,893	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方についてオリエンテーションで十分な説明がありましたか。	3,723	976	138	38	18
②学習の到達目標とその評価方法について十分な説明がありましたか。	3,614	1,049	168	44	18
③授業のテーマや特徴、受講時の留意点等について十分な説明がありましたか。	3,670	1,012	153	43	15
④教員の話し方、教材や資料の提示（板書を含む）、ディスカッションや実験・実技指導などは適切でしたか。	3,531	1,028	233	77	24
⑤教員は、学生が学習に集中できる授業環境になるように配慮（課題提出期限等の適切な設定、感染予防対策など）していましたか。	3,608	1,013	204	49	19
⑥授業構成（ワークや振り返りや質問の時間など）について工夫がなされていましたか。	3,505	1,060	241	68	19



後期のべ回答数 16,881	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方についてオリエンテーションで十分な説明がありましたか。	12,699	3,553	415	147	67
②学習の到達目標とその評価方法について十分な説明がありましたか。	12,458	3,676	506	168	73
③授業のテーマや特徴、受講時の留意点等について十分な説明がありましたか。	12,652	3,509	493	152	75
④教員の話し方、教材や資料の提示（板書を含む）、ディスカッションや実験・実技指導などは適切でしたか。	12,060	3,673	768	249	131
⑤教員は、学生が学習に集中できる授業環境になるように配慮（課題提出期限等の適切な設定、感染予防対策など）していましたか。	12,295	3,627	656	192	111
⑥授業構成（ワークや振り返りや質問の時間など）について工夫がなされていましたか。	12,132	3,703	719	211	116

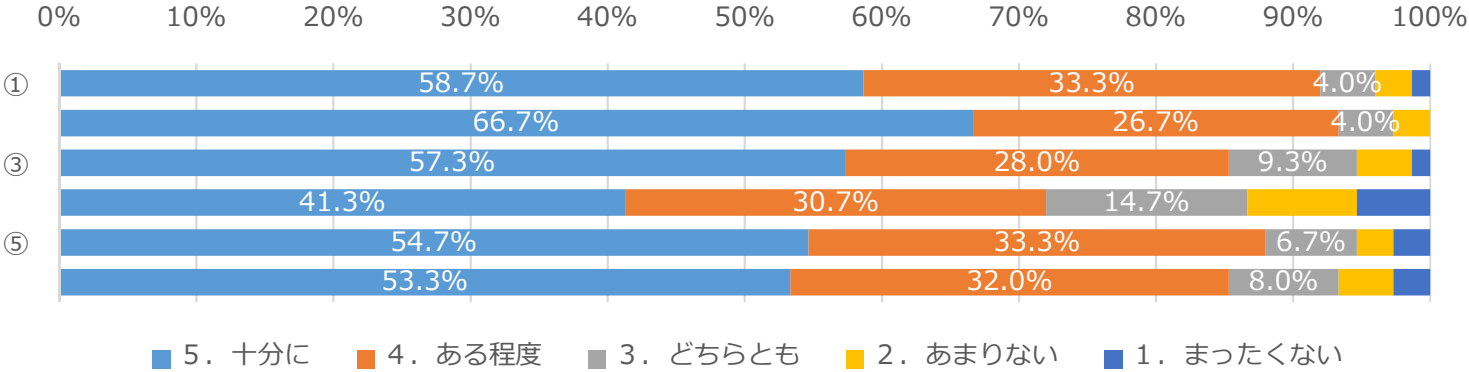


2. 結果

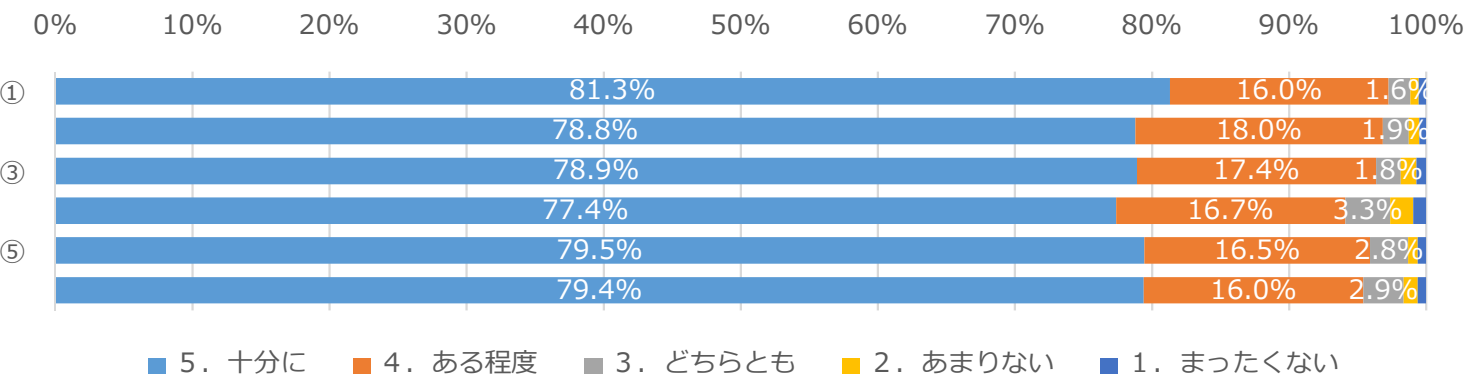
(1) 授業カテゴリー別の集計結果と評価の割合

語学系

前期のべ回答数 75	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方についてオリエンテーションで十分な説明がありましたか。	44	25	3	2	1
②学習の到達目標とその評価方法について十分な説明がありましたか。	50	20	3	2	0
③授業のテーマや特徴、受講時の留意点等について十分な説明がありましたか。	43	21	7	3	1
④教員の話し方、教材や資料の提示（板書を含む）、ディスカッションや実験・実技指導などは適切でしたか。	31	23	11	6	4
⑤教員は、学生が学習に集中できる授業環境になるように配慮（課題提出期限等の適切な設定、感染予防対策など）していましたか。	41	25	5	2	2
⑥授業構成（ワークや振り返りや質問の時間など）について工夫がなされていましたか。	40	24	6	3	2



後期のべ回答数 1,835	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方についてオリエンテーションで十分な説明がありましたか。	1,492	293	29	11	10
②学習の到達目標とその評価方法について十分な説明がありましたか。	1,446	331	35	14	9
③授業のテーマや特徴、受講時の留意点等について十分な説明がありましたか。	1,448	320	33	21	13
④教員の話し方、教材や資料の提示（板書を含む）、ディスカッションや実験・実技指導などは適切でしたか。	1,420	307	60	31	17
⑤教員は、学生が学習に集中できる授業環境になるように配慮（課題提出期限等の適切な設定、感染予防対策など）していましたか。	1,458	302	51	13	11
⑥授業構成（ワークや振り返りや質問の時間など）について工夫がなされていましたか。	1,457	294	54	19	11

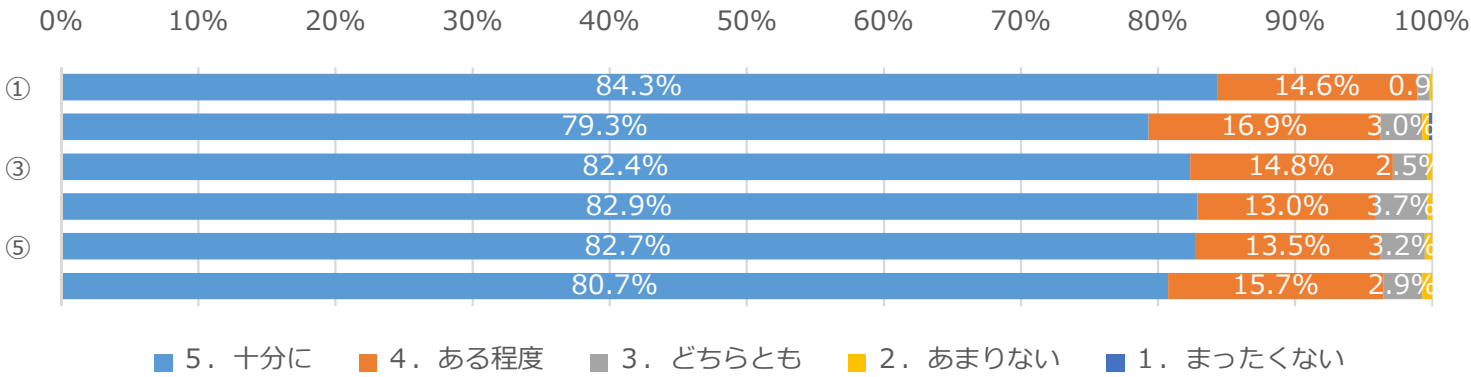


2. 結果

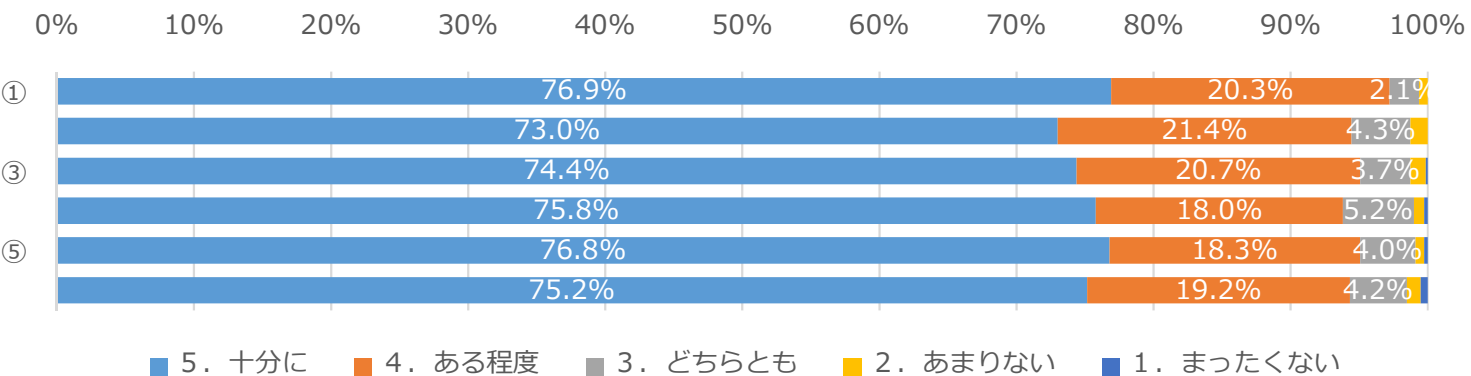
(1) 授業カテゴリ別の集計結果と評価の割合

初年次教育

前期のべ回答数 561	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方についてオリエンテーションで十分な説明がありましたか。	473	82	5	1	0
②学習の到達目標とその評価方法について十分な説明がありましたか。	445	95	17	3	1
③授業のテーマや特徴、受講時の留意点等について十分な説明がありましたか。	462	83	14	2	0
④教員の話し方、教材や資料の提示（板書を含む）、ディスカッションや実験・実技指導などは適切でしたか。	465	73	21	2	0
⑤教員は、学生が学習に集中できる授業環境になるように配慮（課題提出期限等の適切な設定、感染予防対策など）していましたか。	464	76	18	3	0
⑥授業構成（ワークや振り返りや質問の時間など）について工夫がなされていましたか。	453	88	16	4	0



後期のべ回答数 793	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方についてオリエンテーションで十分な説明がありましたか。	610	161	17	5	0
②学習の到達目標とその評価方法について十分な説明がありましたか。	579	170	34	10	0
③授業のテーマや特徴、受講時の留意点等について十分な説明がありましたか。	590	164	29	9	1
④教員の話し方、教材や資料の提示（板書を含む）、ディスカッションや実験・実技指導などは適切でしたか。	601	143	41	6	2
⑤教員は、学生が学習に集中できる授業環境になるように配慮（課題提出期限等の適切な設定、感染予防対策など）していましたか。	609	145	32	5	2
⑥授業構成（ワークや振り返りや質問の時間など）について工夫がなされていましたか。	596	152	33	8	4

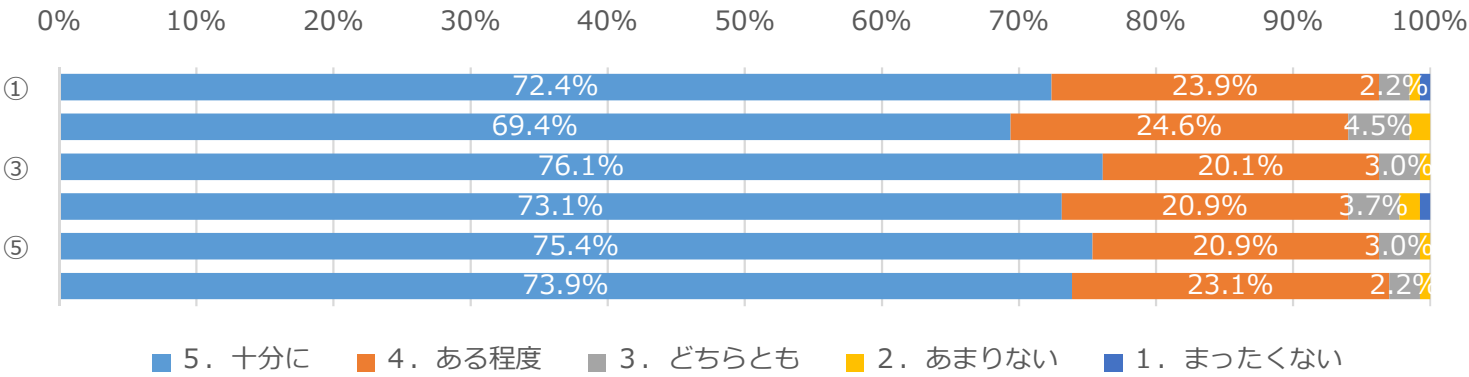


2. 結果

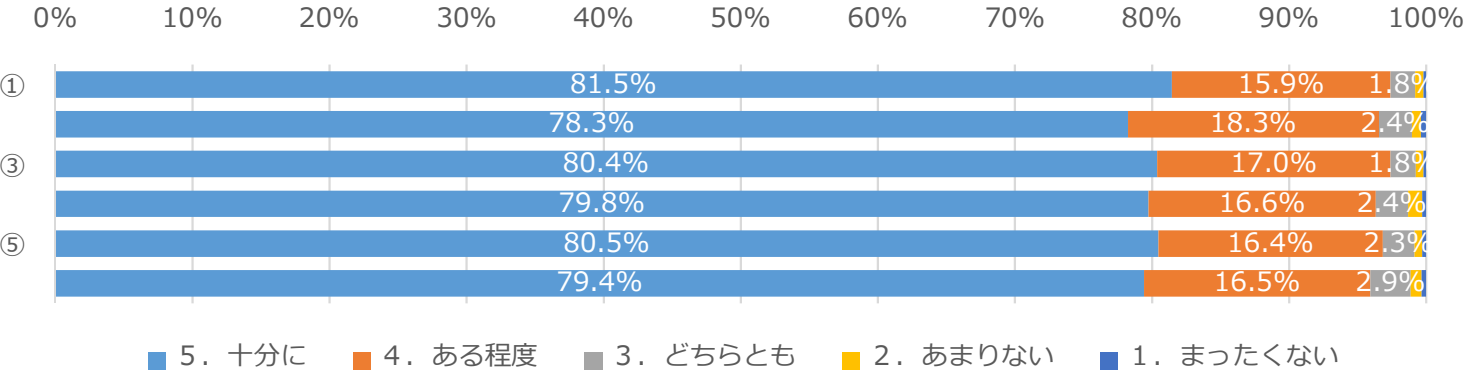
(1) 授業カテゴリー別の集計結果と評価の割合

ゼミ・演習・卒業研究・卒業論文

前期のべ回答数 134	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方について オリエンテーションで十分な説明 がありましたか。	97	32	3	1	1
②学習の到達目標とその評価方法 について十分な説明がありま したか。	93	33	6	2	0
③授業のテーマや特徴、受講時 の留意点等について十分な説明 がありましたか。	102	27	4	1	0
④教員の話し方、教材や資料の 提示（板書を含む）、ディス カッションや実験・実技指導な どは適切でしたか。	98	28	5	2	1
⑤教員は、学生が学習に集中で きる授業環境になるように配慮 （課題提出期限等の適切な設定、 感染予防対策など）していまし たか。	101	28	4	1	0
⑥授業構成（ワークや振り返り や質問の時間など）について工 夫がなされていたか。	99	31	3	1	0



後期のべ回答数 2,120	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方について オリエンテーションで十分な説明 がありましたか。	1,727	338	38	13	4
②学習の到達目標とその評価方法 について十分な説明がありま したか。	1,659	388	51	14	8
③授業のテーマや特徴、受講時 の留意点等について十分な説明 がありましたか。	1,704	361	39	12	4
④教員の話し方、教材や資料の 提示（板書を含む）、ディス カッションや実験・実技指導な どは適切でしたか。	1,691	351	50	22	6
⑤教員は、学生が学習に集中で きる授業環境になるように配慮 （課題提出期限等の適切な設定、 感染予防対策など）していまし たか。	1,706	347	49	12	6
⑥授業構成（ワークや振り返り や質問の時間など）について工 夫がなされていたか。	1,684	350	62	17	7

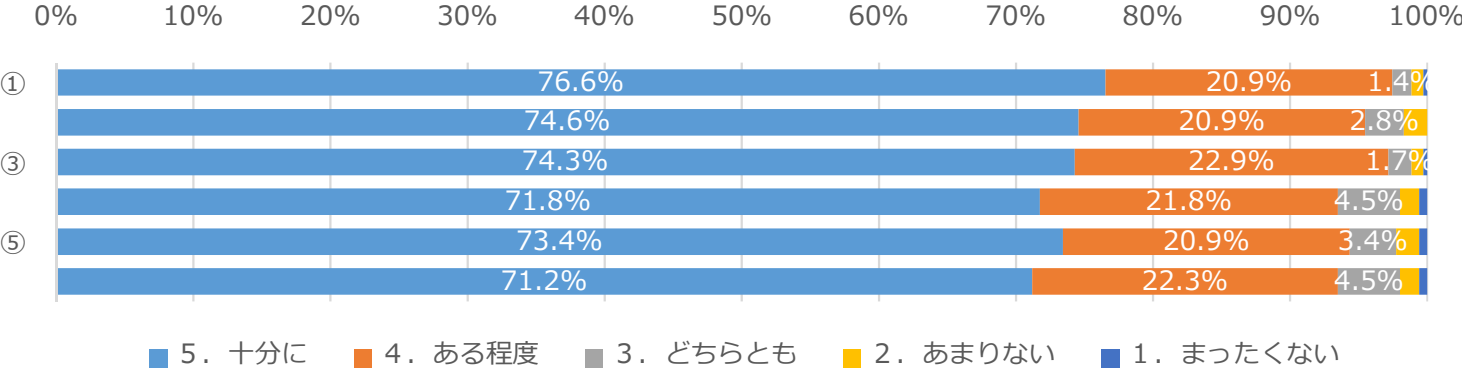


2. 結果

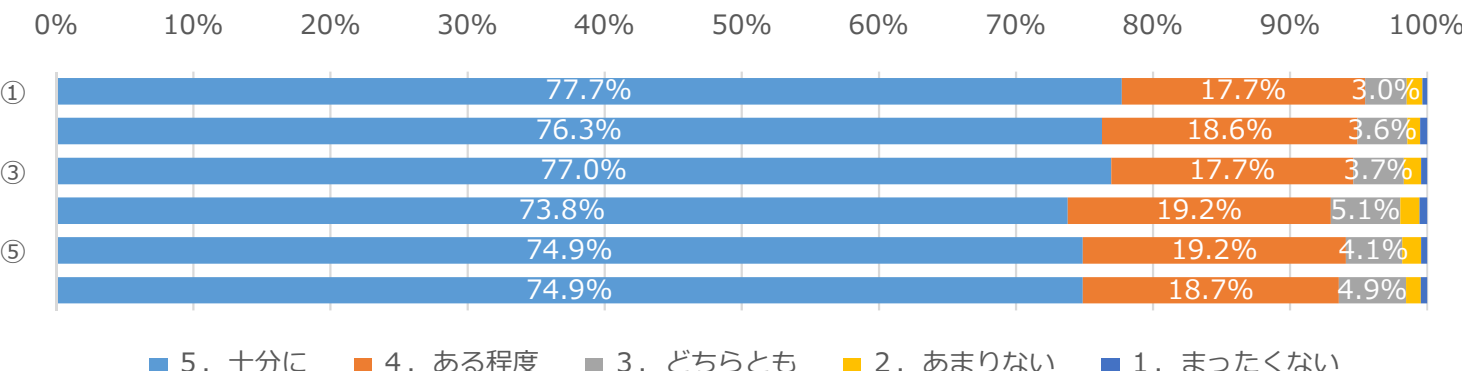
(1) 授業カテゴリー別の集計結果と評価の割合

実習(含指導)・実験・実践・フィールドワーク

前期のべ回答数 354	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方についてオリエンテーションで十分な説明がありましたか。	271	74	5	3	1
②学習の到達目標とその評価方法について十分な説明がありましたか。	264	74	10	6	0
③授業のテーマや特徴、受講時の留意点等について十分な説明がありましたか。	263	81	6	3	1
④教員の話し方、教材や資料の提示（板書を含む）、ディスカッションや実験・実技指導などは適切でしたか。	254	77	16	5	2
⑤教員は、学生が学習に集中できる授業環境になるように配慮（課題提出期限等の適切な設定、感染予防対策など）していましたか。	260	74	12	6	2
⑥授業構成（ワークや振り返りや質問の時間など）について工夫がなされていましたか。	252	79	16	5	2



後期のべ回答数 2,362	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方についてオリエンテーションで十分な説明がありましたか。	1,836	419	72	27	8
②学習の到達目標とその評価方法について十分な説明がありましたか。	1,802	440	86	22	12
③授業のテーマや特徴、受講時の留意点等について十分な説明がありましたか。	1,818	417	87	30	10
④教員の話し方、教材や資料の提示（板書を含む）、ディスカッションや実験・実技指導などは適切でしたか。	1,743	453	120	33	13
⑤教員は、学生が学習に集中できる授業環境になるように配慮（課題提出期限等の適切な設定、感染予防対策など）していましたか。	1,769	453	97	33	10
⑥授業構成（ワークや振り返りや質問の時間など）について工夫がなされていましたか。	1,769	441	116	25	11

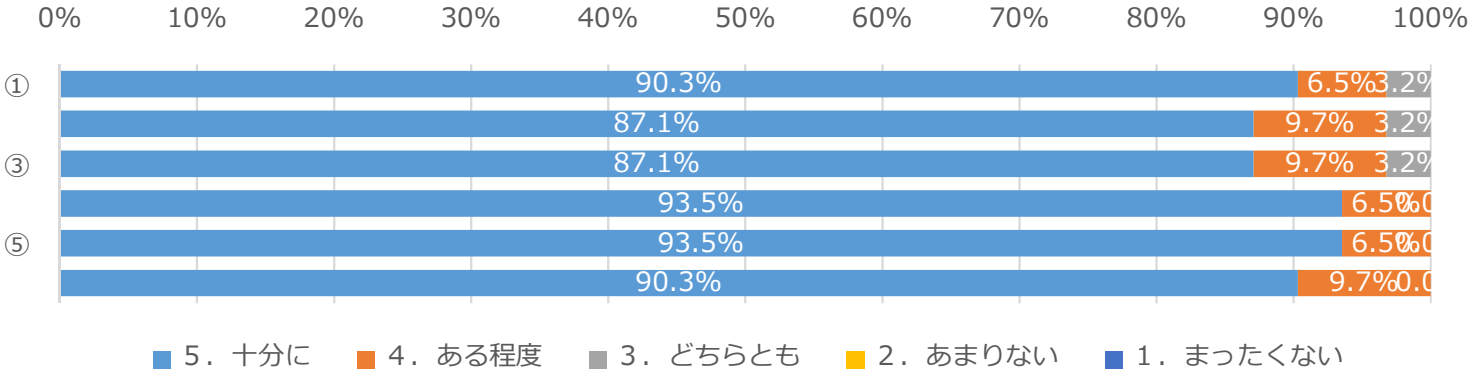


2. 結果

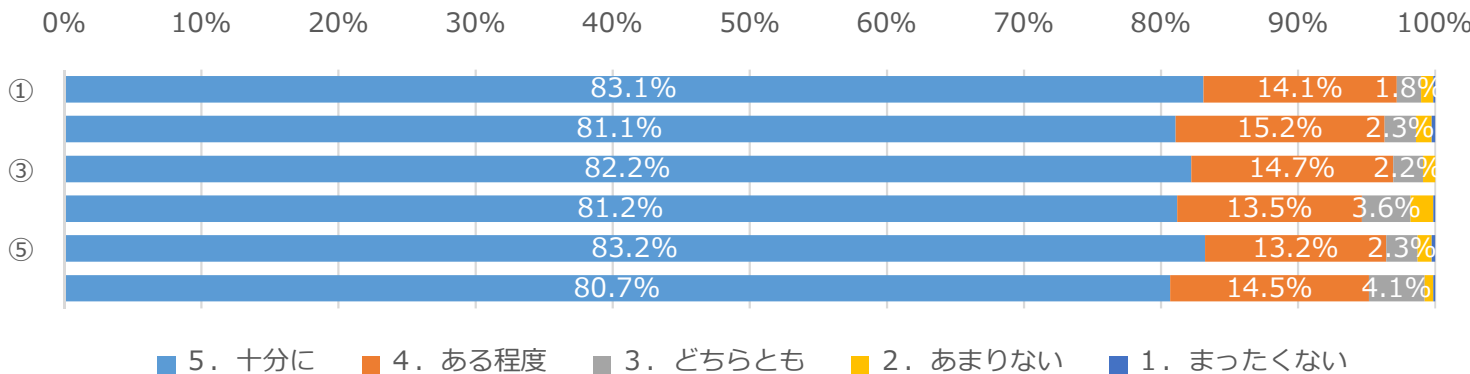
(1) 授業カテゴリー別の集計結果と評価の割合

スポーツ

前期のべ回答数 31	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方についてオリエンテーションで十分な説明がありましたか。	28	2	1	0	0
②学習の到達目標とその評価方法について十分な説明がありましたか。	27	3	1	0	0
③授業のテーマや特徴、受講時の留意点等について十分な説明がありましたか。	27	3	1	0	0
④教員の話し方、教材や資料の提示（板書を含む）、ディスカッションや実験・実技指導などは適切でしたか。	29	2	0	0	0
⑤教員は、学生が学習に集中できる授業環境になるように配慮（課題提出期限等の適切な設定、感染予防対策など）していましたか。	29	2	0	0	0
⑥授業構成（ワークや振り返りや質問の時間など）について工夫がなされていましたか。	28	3	0	0	0



後期のべ回答数 787	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方についてオリエンテーションで十分な説明がありましたか。	654	111	14	7	1
②学習の到達目標とその評価方法について十分な説明がありましたか。	638	120	18	9	2
③授業のテーマや特徴、受講時の留意点等について十分な説明がありましたか。	647	116	17	7	0
④教員の話し方、教材や資料の提示（板書を含む）、ディスカッションや実験・実技指導などは適切でしたか。	639	106	28	13	1
⑤教員は、学生が学習に集中できる授業環境になるように配慮（課題提出期限等の適切な設定、感染予防対策など）していましたか。	655	104	18	8	2
⑥授業構成（ワークや振り返りや質問の時間など）について工夫がなされていましたか。	635	114	32	5	1

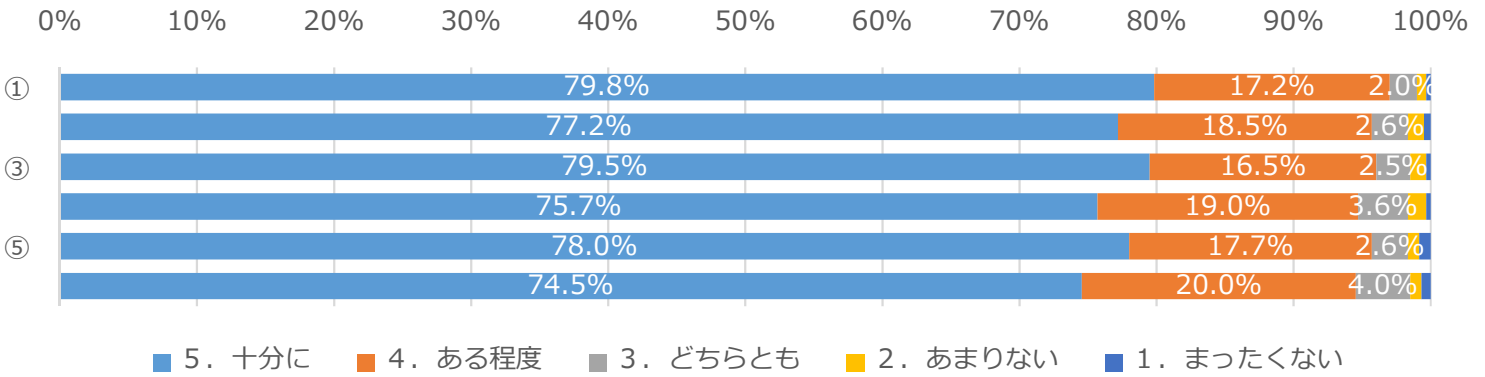


2. 結果

(1) 授業カテゴリー別の集計結果と評価の割合

禅

後期のべ回答数 605	5. 十分に	4. ある程度	3. どちらとも	2. あまりない	1. まったくない
①授業の計画や進め方について オリエンテーションで十分な説明 がありましたか。	483	104	12	4	2
②学習の到達目標とその評価方法 について十分な説明がありまし たか。	467	112	16	7	3
③授業のテーマや特徴、受講時 の留意点等について十分な説明 がありましたか。	481	100	15	7	2
④教員の話し方、教材や資料の 提示（板書を含む）、ディス カッションや実験・実技指導な どは適切でしたか。	458	115	22	8	2
⑤教員は、学生が学習に集中で きる授業環境になるように配慮 （課題提出期限等の適切な設定、 感染予防対策など）していまし たか。	472	107	16	5	5
⑥授業構成（ワークや振り返り や質問の時間など）について工 夫がなされていたか。	451	121	24	5	4



(1) 授業カテゴリー別の集計結果と評価の割合のまとめ

評価は、良い方から「十分に」「ある程度」「どちらとも（いえない）」「あまりない」「まったく
ない」の五件法とした。しかしながら、本設問は、いずれの項目も「十分」な状態が求められている内
容であることから、「ある程度」が選択されている場合は、「（概ね）良好」ということではなく、
「許容範囲」と判断されている可能性が高いと考えられる。

下表では、授業の各カテゴリーについて、左カラムの①～⑦の設問への回答の選択肢として、最も高
い評価である「十分であった」が選択された割合を示した。各スコアは、前期・後期の平均値とした。

いずれの設問項目についても、スポーツ系の授業が最も高く（ボールド）、一般講義が最も低かった
（イタリック）。前期と後期で比較すると、一般講義と語学系は前期より後期が高く、それ以外のカテ
ゴリーは、後期より前期が高いという傾向が見られた。

	一般講義	語学系	初年次 教育	ゼミ	実習	スポーツ	禅
①オリエンテーションでの十分な説明	75.4%	80.4%	80.0%	80.9%	77.6%	83.4%	79.8%
②到達目標と評価方法の十分な説明	73.8%	78.3%	75.6%	77.7%	76.1%	81.3%	77.2%
③授業テーマ等の十分な説明	75.0%	78.1%	77.7%	80.1%	76.6%	82.4%	79.5%
④教員の適切さ	71.6%	76.0%	78.7%	79.4%	73.5%	81.7%	75.7%
⑤教員の授業環境に対する配慮	73.0%	78.5%	79.2%	80.2%	74.7%	83.6%	78.0%
⑥授業構成	71.8%	78.4%	77.5%	79.1%	74.4%	81.1%	74.5%

2. 結果

(2) 自由記載の分析

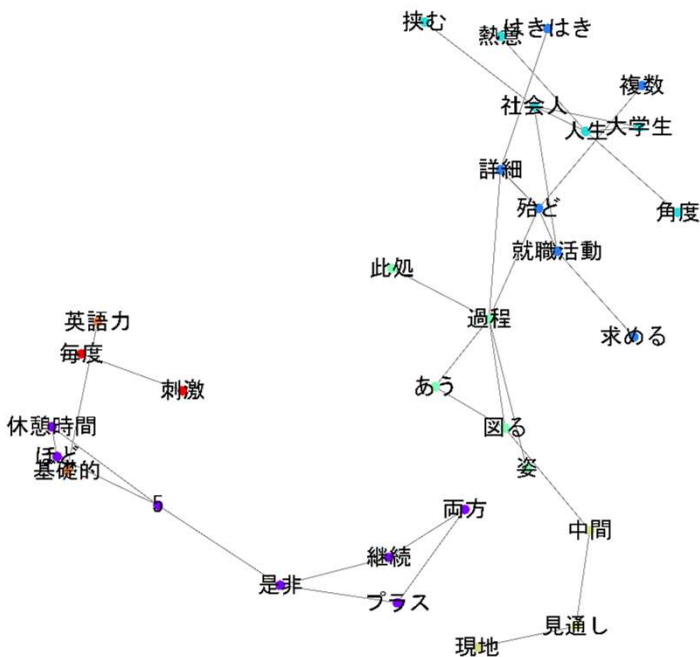
各授業において「よかったと感じられた点」「よかったとは感じられなかった点」があった場合、それぞれ300字以内で自由記載を求めた結果、前期・後期合わせて、前者はのべ15,096、後者はのべ4,950の回答が得られた（なお、分析対象となる「なし」「特になし」を除いた回答数は「よかったと感じられた点」が13,236、「よかったとは感じられなかった点」が2,758であった）。

分析においては、これらの回答からキーワードとキーワード間の関連性についてキーワードの出現頻度と共起性を解析し、回答内容の集約と評価の観点を検討した。分析にはPython言語を用い、GiNZA（bert-large-Japanese-v2）を使用して形態素解析を行った後に単語の集計を行った。なお、共起ネットワーク解析時に扱いやすいよう形態素解析時に登場単語は原形で統一した。また、共起ネットワークの可視化にはnetworkx Library を用い、共起ネットワーク分析においては、講義、資料、先生、説明 などの頻出回数上位10%の単語は授業評価において当然登場する単語であり、回答傾向の抽出には貢献しないので除外するとともに、1回しか登場しない実績、少年法、市役所 など頻出回数下位約20%の単語も回答傾向の抽出には貢献しないので除外した。

1. 「よかったと感じられた点」（N=13,236）
共起ネットワークとクラスタリングの結果からは

- ① 授業中に5分程度の休憩時間があったこと
- ② 英語の科目が工夫されていたこと
- ③ オンデマンド授業との併用に関すること
- ④ 就職活動の詳細に関すること
- ⑤ 学修の見通しに関すること

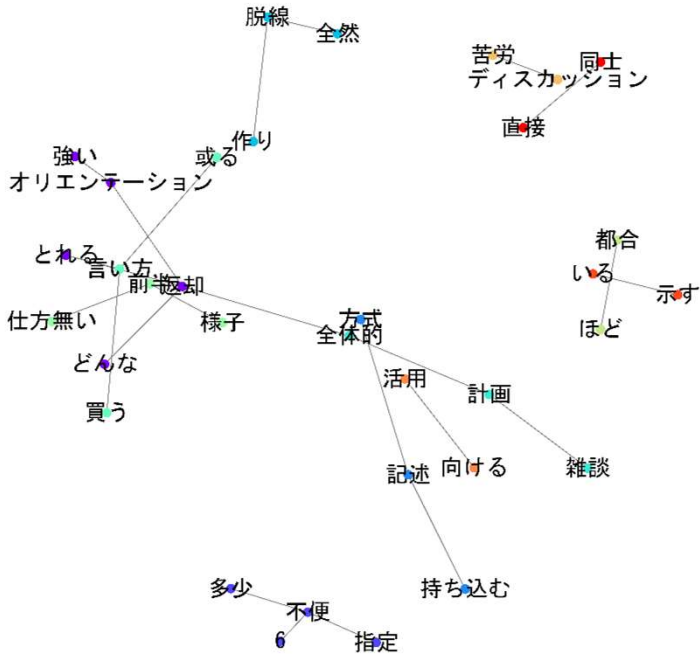
で「よかった」と感じられていたことが推察された。



2. 「よかったとは感じられなかった点」（N=2,758）
共起ネットワークとクラスタリングの結果からは

- ① オリエンテーションに関すること
- ② 言い方などの表現に関すること
- ③ 座席指定のある講義が多少不便であったこと
- ④ 持ち込み可の記述方式試験に関すること
- ⑤ ディスカッションに苦労したこと

で「よかった」とは感じられなかったことがあったと推察された。ただし、データ数が2,758と少ないため、集計結果に偏りがある可能性がある点は注意が必要である。



3. まとめ

授業カテゴリー別の評価方法は、昨年度までと同様に、評価は良い方から「十分に」「ある程度」「どちらとも（いえない）」「あまりない」「まったくない」の五件法とした。結果として、いずれの授業カテゴリーについても「十分に」「ある程度」といったポジティブ・ワードを選択した回答が90%を占めており、概ね高評価であったと言える。しかしながら、これらの設問はいずれの項目も「十分」な状態が求められている内容である。さらに、「十分に」と「ある程度」との間には語感としてレベルの開きがあることから、「ある程度」が選択されている場合は「許容範囲」である旨の評価が含まれている可能性が高いと考えられる。

授業の各カテゴリーについて、各設問への回答の選択肢として最も高い評価である「十分であった」が選択された割合を比較すると、いずれの項目についても、スポーツ系の授業が最も高く、一般講義が最も低かった。このような結果となった理由の一つには、担当教員の十分な配慮があることは言うまでもないが、スポーツ系科目においては科目名から授業の内容が明確で、説明がなくとも学生はある程度内容をイメージでき、その上で、担当教員からの詳細な説明を受けることで、十分にわかった印象になっていることも一因と考えられる。

自由記載では、全体を通して、良い内容としては

1. 実習や授業の有用性

- ・ 実習先の方々が親切で、貴重な経験を積むことができた。
- ・ 国試対策の授業やレポートの書き方、コンファレンスの仕方など、今後に役立つ授業が多かった。

2. 資料や映像の活用

- ・ スライドやプリントが分かりやすく、授業資料に動画が多く含まれており、理解が深まった。
- ・ 映像や資料を使うことで学びを深めることができた。

3. フィールドワークと実践的な学び

- ・ 実際の自治体の会議や地域看護の実態を知ることができ、フィールドワークが役立った。
- ・ 小学校での実験や指導方法を体験し、実践的な知識を学ぶことができた。

4. 授業の進め方と参加型の学び

- ・ 授業の進め方やスピードが良く、振り返りを行うことで内容をインプットできた。
- ・ 模擬授業やグループワークを通じて、自分達の考えを深めることができた。

5. 試験対策と復習の効果

- ・ 授業ごとにテスト勉強がしやすく、復習や試験勉強に役立った。
- ・ 小テストや確認テストを通じて、理解度を高めることができた。

学生の実践的な学びと授業の有用性、資料や映像の効果的な活用、フィールドワークの価値、参加型の学び、そして試験対策の効果が見出せた。逆に、良くない内容としては

1. 実習の問題点

- ・ 実習先での指導やサポートが不十分であり、学生が必要なスキルを身につけるのに苦労した。
- ・ 実習内容が具体的でなく、学びに対する明確な目的が欠けていると感じられた。

2. 資料や教材の問題

- ・ 資料や教材が不十分で、学生が自学自習する際に困難を感じるが多かった。
- ・ 配布される資料が見つらく、重要な情報が分かりにくいが多かった。

3. 授業の進め方に関する問題

- ・ 授業の進め方が一貫しておらず、学生が授業内容を理解するのに苦労することが多かった。
- ・ 授業のスピードが速すぎて、十分に理解できないまま次の内容に進むことがあった。

4. 試験対策の不十分さ

- ・ 試験対策が不十分であり、学生が試験に向けて適切に準備するのが難しかった。
- ・ 試験範囲や重要なポイントが明確に示されず、効果的な学習ができなかった。

5. 学生同士の交流の不足

- ・ 学生同士の意見交換やディスカッションの機会が少なく、協力して学ぶ環境が整っていなかった。
- ・ グループワークや共同作業の時間が十分に確保されておらず、相互理解が深まらなかった。

であり、実習や授業、試験対策の問題点、および学生間の交流不足が見出せた。

＜参考＞2023年度（令和5年度）授業評価アンケート設問（前期・後期共通）

1. 基本属性

（1）所属学部学科・研究科専攻分野

所属学科等について、必ずひとつチェックしてください。【必須】

- ・社会福祉学科（1年のみ）
- ・社会福祉学科社会福祉コース
- ・社会福祉学科総合福祉コース
- ・福祉心理学科
- ・福祉行政学科
- ・産業福祉マネジメント学科
- ・情報福祉マネジメント学科
- ・教育学科初等教育専攻幼保コース
- ・教育学科初等教育専攻小幼コース
- ・教育学科初等教育専攻小特コース
- ・教育学科初等教育専攻コース未決定（1年のみ）
- ・教育学科中等教育専攻
- ・保健看護学科
- ・リハビリテーション学科理学療法学専攻
- ・リハビリテーション学科作業療法学専攻
- ・医療経営管理学科
- ・その他の学部授業の受講学生
- ・総合福祉学研究科博士社会福祉学専攻
- ・総合福祉学研究科修士社会福祉学専攻
- ・総合福祉学研究科修士福祉心理学専攻福祉心理学分野
- ・総合福祉学研究科修士福祉心理学専攻臨床心理学分野
- ・教育学研究科修士教育学専攻
- ・その他の大学院授業の受講学生

（2）所属学年

所属学年について、必ずひとつチェックしてください。【必須】

- ・学部1年
- ・学部2年
- ・学部3年
- ・学部4年
- ・修士1年
- ・修士2年
- ・博士1年
- ・博士2年
- ・博士3年
- ・その他

2. 授業について

原則「対面式」で授業が行われました（一部「オンデマンド」で実施された授業もあります）。

（1）この授業について、次の①から⑥について、ご自身の考えに一番近い選択肢をひとつ選んでチェックをしてください。【すべて必須】

①授業の計画や進め方についてオリエンテーションで十分な説明がありましたか。

- 5. 十分な説明があった
- 4. ある程度の説明はあった
- 3. どちらとも言えない
- 2. 少し説明があった
- 1. まったく説明がなかった

②学習の到達目標とその評価方法について十分な説明がありましたか。

- 5. 十分な説明があった
- 4. ある程度の説明はあった
- 3. どちらとも言えない
- 2. 少し説明があった
- 1. まったく説明がなかった

③授業のテーマや特徴、受講時の留意点等について十分な説明がありましたか。

5. 十分な説明があった
4. ある程度の説明はあった
3. どちらとも言えない
2. 少し説明があった
1. まったく説明がなかった

④教員の話し方、教材や資料の提示（板書を含む）、ディスカッションや実験・実技指導などは適切でしたか。

5. 十分適切だった
4. ある程度適切だった
3. どちらとも言えない
2. あまり適切ではなかった
1. まったく適切ではなかった

⑤教員は、学生が学習に集中できる授業環境になるように配慮（課題提出期限等の適切な設定、感染予防対策など）していましたか。

5. 十分に配慮していた
4. ある程度配慮していた
3. どちらとも言えない
2. あまり配慮していなかった
1. まったく配慮していなかった

⑥授業構成（ワークや振り返りや質問の時間など）について工夫がなされていましたか。

5. 十分に工夫されていた
4. ある程度工夫されていた
3. どちらとも言えない
2. あまり工夫されていなかった
1. まったく工夫されていなかった

（２）－１【対面式授業について】

①この授業で、ご自身の学習にとって「効果的だった」「積極的に取り組むようになれた」「これからも続けてほしい」等、「よかったと感じられた点」について、自由にお書きください。授業の方法、進め方、内容、評価などいずれでも構いません。複数ある方は箇条書きでも結構です。「よかったと感じられた点」がない場合は「なし」と書いてください。（全角300字以内）

②この授業で、ご自身の学習にとって「あまり効果的ではなかった」「積極的に取り組む気持ちにはつながらなかった」「これからは改善した方がいい」等、「よかったとは感じられなかった点」があれば、なるべく具体的に教えてください。複数ある方は箇条書きでも結構です。問題状況を体験しなかった方は「なし」と書いてください。（全角300字以内）

（２）－２【オンデマンド授業について】

①この授業で、ご自身の学習にとって「効果的だった」「積極的に取り組むようになれた」「これからも続けてほしい」等、「よかったと感じられた点」について、自由にお書きください。授業の方法、進め方、内容、評価などいずれでも構いません。複数ある方は箇条書きでも結構です。「よかったと感じられた点」がない場合は「なし」と書いてください。（全角300字以内）

②この授業で、ご自身の学習にとって「あまり効果的ではなかった」「積極的に取り組む気持ちにはつながらなかった」「これからは改善した方がいい」等、「よかったとは感じられなかった点」があれば、なるべく具体的に教えてください。複数ある方は箇条書きでも結構です。問題状況を体験しなかった方は「なし」と書いてください。（全角300字以内）

以上でアンケートは終わりです。お疲れ様でした。